

## 第25回 日本歯科医学会学術大会 に参加しました

2025年9月26日（金）～28日（日）にパシフィコ横浜で開催されました、第25回日本歯科医学会学術大会に当センターの歯科医師の篠木先生と今野が学会参加してきました。今回の学会テーマは「歯科イノベーションによる新時代の創生」ということで、これまでの臨床や研究の実績、進行中のプロジェクト、今後の課題と展望を皆で話し合い、未来社会に向けて、歯科界の取組みを力強く発信していくことを趣旨としているようです。様々なセッションでは歯科専門家だけでなく、医科、栄養、看護、介護、保健福祉、教育等の他領域の専門家との連携や協力を重視したプログラムが数多く見られました。

また、開会講演では日本将棋連盟 棋士の羽生 善治さんの「決断力を磨く」という内容のお話を聞かせていただきました。棋士は「直感」と「読み」と「大局観」を使いこなしながら対局に臨んでいるそうです。年齢と経験でその要素の比重は変化し、若いころは先の手を読む「読み」が強く、経験とともに「直感」と「大局観」の幅が増えるそうです。「直感」とは積み重ねてきたものと学びから得られるもので、「大局観」はおおまかな方向性を決め無駄を省くものだそうです。私も診療において「直感」を感じた際に、その「直感」に従いきれずに悔しい思いをすることがあります。「直感」は自分の重ねてきた経験であり、それに素直に従うことなのだと学びました。

なお、今回の学会にはeポスター形式で2題の学会発表を行っています。

表題は

今野：「2次医療機関における医療的ケア児者等を対象とした在宅歯科診療の取り組みについて」

篠木：「2次医療機関における過去10年間の初診患者の実態調査」

となっております。当センターの活動報告がともに歯科医療を支えている歯科医療関係者に幅広く周知されることを願っております。

診療科長 今野 歩